

政策 05 環境と調和したまちづくり

施策 04 生活衛生環境の向上

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
快適で衛生的な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	快適な生活衛生環境だと思う市民の割合（％） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
		68.2	-	79.1	72	☀️ (向上)
評価	(状況) 前回調査(R01)と比べて3.3ポイント増加し、令和5年度目標値を7.1ポイント上回った。 (原因) 改善要望に対する早期対応や環境保全指導員の巡回パトロール、環境パトロールボランティアによる活動等により、生活衛生環境が改善したことに因るものである。					対 前年度 ☀️ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

指標	生活衛生環境に関する事故件数（件） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
		0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値と同じく0件であった。					対 前年度 ☀️ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

指標	生活衛生環境に関する苦情の解決率（％） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
		98.8	98.3	98.6	98	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年度実績と比べて0.3ポイント増加した。 (原因) 市職員による早期対応や関係者間の調整などを進め、解決に努めてきたことに因るものである。					対 前年度 ☀️ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域住民による生活衛生環境の保全

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	54.4	-	21.0	60	☂ (低下)
評価	(状況) 後期基準値であるH30に比べ、33.4ポイント減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置により、自治会や町内会の活動を自粛したことに因るものである。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業01 地域住民による生活衛生環境の保全

指標	ペット・小動物に関する苦情件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	31	40	36	25	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度と比べ、犬や猫に関する苦情件数は4件減少した。 (原因) 犬や猫に関する主な苦情内容は、犬の鳴き声や放し飼い、野良猫のえさやり、糞害等の飼い主のマナーに因るものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 生活衛生環境の向上支援

指標	生活衛生環境の向上支援件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	1,329	1,586	1,582	1,600	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度実績に比べ4件減少した。 (原因) 猫の避妊等手術費補助、スズメバチの巣の駆除費補助件数は若干減少した。草刈り機貸し出し件数が増加しており、周知啓発が浸透していることが要因である。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 公害の防止

指標	公害に関する苦情件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	87	117	73	60	☀ (向上)
評価	(状況) R2年度と比べ44件減少したが、令和5年度目標値より13件上回った。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置により、在宅時間が長かったR2年度に比べ、苦情件数が減少したことが大きな要因である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 墓園の管理

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	区画墓園利用率(%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	88	87	86	90	☂ (低下)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、現状値が1ポイント減少した。 (原因)需要に応じた使用者募集を行ったが、新たに決定した区画は24区画と前年度と比較して2区画分減少し、また、返還が42件あり、利用率が減少したためである。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 墓園の管理

指標	合葬式墓地の利用許可数(件)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	0	541	753	750	(---)
評価	(状況)前年度実績から212ポイント増加し、後期目標値は達成した。 (原因)供用開始から2年目となり、需要が落ち着いたことから、応募者数も減少したが、一般墓地と募集時期を合わせることで、広報記事の紙面を大きくするなど周知を行った。					対 前年度
						(---)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業04 墓園の管理

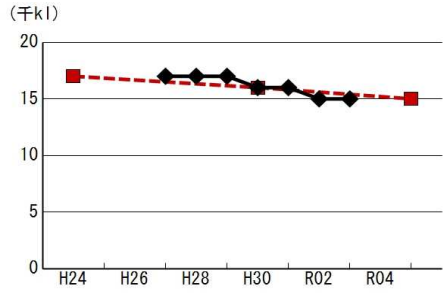


指標	墓園維持管理に関する苦情件数(件)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	23	26	44	20	☂ (低下)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、現状値が18ポイント増加した。 (原因)墓園の環境維持を目的にごみ集積所を廃止し、供花等の持ち帰りを周知依頼したが、廃止に対する苦情が多く寄せられたため。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業05 し尿処理施設の管理

指標	施設維持管理に関する障害件数(件)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	0	0	0	0	☁ (横ばい)
評価	(状況)施設の老朽化が進み、修繕箇所が増加している (原因)長期修繕計画に基づく定期修繕の実施や、早期発見・早期対応による緊急修繕を実施したため、重大な障害の発生は未然に防ぐことができています。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業05 し尿処理施設の管理

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	し尿等の搬入量（千kl） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
			16	15	15	15
評 価	(状況) 前年度実績から増減はない。 (原因) 公共下水道の整備促進によりし尿等の搬入量は減少しているが、下水道への切替工事に伴う浄化槽汚泥の搬入もあり、全体の搬入量の減少幅は小さい。	(千kl) 				対 前年度
						 (横ばい)
					目 標 達 成 度	
					 (達成)	